



株式会社 **イズミ** 証券コード 8273
http://www.izumi.co.jp

株主メモ

- 決算期 ● 2月末日(年1回)
- 定時株主総会 ● 5月下旬
- 利益配当金受領株主確定日 ● 2月末日
- 中間配当金受領株主確定日 ● 8月31日
- 公告掲載紙 ● 日本経済新聞に掲載する。ただし、貸借対照表および損益計算書に係る情報は http://www.izumi.co.jp/ir/kessan_koukoku において提供する。
- 上場証券取引所 ● 東京証券取引所市場第一部
大阪証券取引所市場第一部
- 名義書換代理人 ● 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 ● 住友信託銀行株式会社 証券代行部
- [郵便物送付先] 〒183-8701 東京都府中市日綱町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部
- [電話照会先] [住所変更等用紙のご請求] ☎ 0120-175-417
[その他ご照会] ☎ 0120-176-417
- [インターネットホームページURL] <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>
- 同 取 次 所 ● 住友信託銀行株式会社 全国各支店

株主優待制度の概要

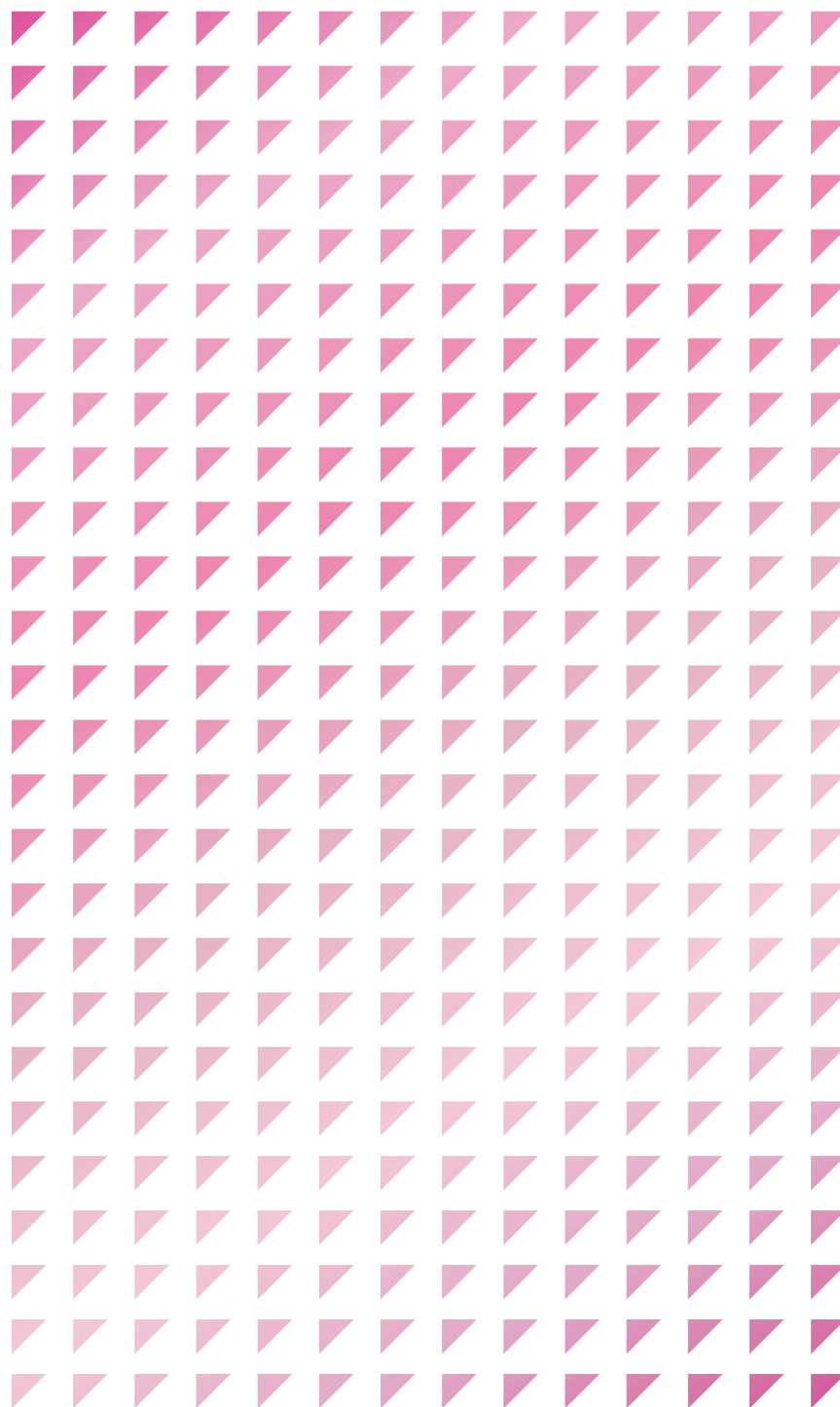
毎年2月末日および8月31日現在、当社株式100株以上ご所有の株主の皆様に対して、ご所有株式数に応じて次の通り「株主ご優待券」をお贈りいたします。

ご所有株式数	一回当たり贈呈額
100株以上	200円券× 5枚 = 1,000円の優待券
500株以上	200円券× 25枚 = 5,000円の優待券
1,000株以上	200円券× 50枚 = 10,000円の優待券
2,000株以上	200円券×100枚 = 20,000円の優待券
3,000株以上	200円券×150枚 = 30,000円の優待券
4,000株以上	200円券×200枚 = 40,000円の優待券
5,000株以上	200円券×250枚 = 50,000円の優待券

(注) 2,000円以上お買上げにつき、2,000円ごとに各1枚(200円券)をご使用できます。

泉美術館ご招待券の贈呈

平成17年2月28日現在で当社株式を1単元以上ご所有の株主の皆様
に「泉美術館ご招待券」をお贈りさせていただきます。



IZUMI REPORT

平成17年2月期の業績について

お客様満足を追求し 企業価値を高めてゆきます。



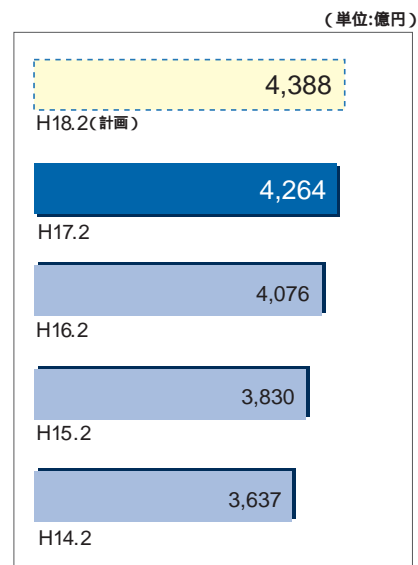
代表取締役社長 山西 泰明

当期は、景気回復基調にあったものの、天候不順や競合激化により小売業にとって厳しい状況が続きました。このような状況のもと、当グループは引き続きお客様にご満足いただける売場作りを追求してまいりました。特に、売れ筋商品の拡大を目指し、情報収集の強化と取扱い商品の見直しを進めました。さらに、小商圈での競争力を強化するべく、価格設定を見直すとともに地産地消など地域密着の品揃えの実現を図りました。また、店舗の付加価値を高めるべく既存店舗の活性化を継続的に実施するとともに、有力テナントの導入に努めました。連結子会社では、クレジット取扱高の増加に注力したカード事業会社(株)ゆめカードや当グループ外へも受注を拡大しているビル・メンテナンス会社(株)イデオ、(株)ニコニコ堂の店舗を継承した総合小売業(株)ゆめタウン熊本などが堅調に推移いたしました。これらの結果、当期の業績は右記のとおり堅調に推移し、6期連続で増収増益を達成いたしました。次期につきましても、お客様満足を追求し、企業価値の一段の向上に努めてまいります。

連結 営業収益

4,264億円 前期比 4.6%増

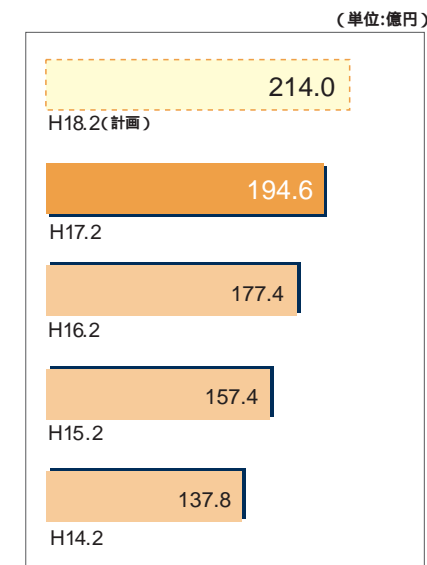
競合激化や天候不順によりイズミ単体の既存店売上高は前年比97.1%と低迷いたしました。しかし、新店舗の好調な推移と連結子会社の貢献により、4.6%の増収となりました。



連結 経常利益

194.6億円 前期比 9.7%増

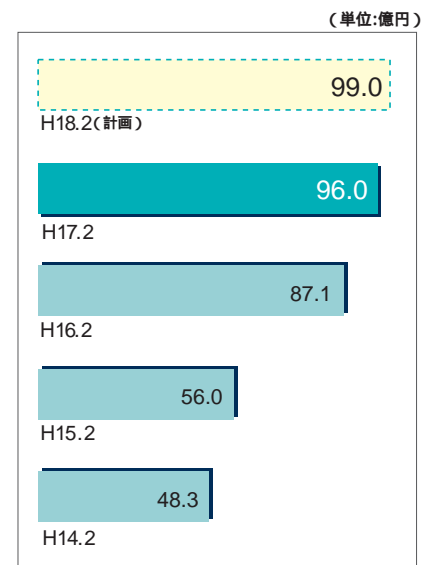
仕入原価の低減や販管費の抑制により経常利益率は前年よりも0.2ポイント改善の4.7%となりました。なお、資産効率を表す指標である総資産経常利益率は6.3%(前年比0.1ポイント改善)となりました。



連結 当期純利益

96.0億円 前期比 10.2%増

堅調な営業成績を背景に10.2%増益を達成。株主資本当期純利益率も11.3%(前年比0.5ポイント改善)となりました。なお、単体の配当金は1円00銭増配の年間24円00銭とさせていただきます。



地域に根ざし、地域と共に輝く「ゆめタウン」

イズミが展開する大型ショッピングセンター「ゆめタウン」は、地域一番の規模と質で広域からの集客を果たしつつ、地域の特性にきめ細かく適応した売場作りで日常のニーズに応えています。さらに、環境、雇用、文化の面で地域社会に貢献し、地域活性化の一端を担ってまいりました。「ゆめタウン」は中国・九州・四国地方を主要な展開エリアとして毎年安定的に出店を行ってまいりました。便利で快適、楽しく・ふれあいのある夢の街として、その機能は着実に進化をとり、お客様のサポートをいただいております。

平成17年度は「ゆめタウン八代」を開店するとともに、既存の店舗も一段と付加価値を高めてまいりました。「ゆめタウン」とイズミの成長にご期待ください。



2005年6月オープン予定

ゆめタウン八代

九州新幹線が開業し新たな拠点都市としての成長が期待される熊本県八代市。今年6月、ここ八代市に「ゆめタウン」がオープンします。地域商業の核として、中心市街地との回遊性を高めつつ、豊富な駐車場や球磨川河川の景観を取り入れた開放感ある空間、

そして生活・文化の情報発信源として、熊本県南のランドマークにふさわしい店作りを行ってまいります。

所在地 / 熊本県八代市建馬町
敷地面積 / 70,000㎡、店舗面積 / 28,100㎡、駐車場台数 / 2,200台

2004年オープン報告

ゆめタウン光の森・ゆめタウン呉

2004年6月に熊本県に「ゆめタウン光の森」が、そして9月には広島県に「ゆめタウン呉」が、相次いで誕生しました。両店とも、「ワンストップサービス」「地域密着」「容易なアクセス」を大きな特長とし、地域の皆さまに喜ばれる店舗として順調に推移しています。



ゆめタウン光の森

所在地 / 熊本県 菊池郡
敷地面積 / 48,500㎡、店舗面積 / 36,600㎡
駐車場台数 / 2,800台、テナント数 / 120店舗



ゆめタウン呉

所在地 / 広島県呉市
敷地面積 / 20,800㎡、店舗面積 / 22,500㎡
駐車場台数 / 1,400台、テナント数 / 80店舗

地域の生産者とお客様を安心で結ぶ「地産地消」活動

地域密着の店作りを進めるイズミは地場商品の開発・品揃えを進めており、お客様の食の安全への意識の高まりと相まって高い支持を得ています。生産者とお客様を結ぶ当社の取り組みをご紹介します。

① 地元の産物が安心で新鮮

野菜や魚貝類などの生鮮品、牛乳や豆腐などの農業加工食品は新鮮さと生産へのこだわりが大きな付加価値となります。そこで各店舗で地元の優良生産者の方との協力関係を築くことに率先して取り組み、売場では「地域の産品」専用コーナーを展開しています。さらにここ1~2年は、それを一歩進めた各県毎の「地産地消フェア」を計画的に開催しています。

② 安全へのこだわり「トレーサビリティ」

食の安全は今の消費者にとっての重大関心事であるとともに、供給する流通業者にとっては重要な社会的責任と考えています。食品売場では、牛肉のトレーサビリティ制度をはじめ各農産品や加工食品毎に、産地だけでなく生産者の名前や使用した肥料や添加物などできるだけ多くの情報が得られるよう工夫していきたいと考えています。

③ 隠れた地域ブランドを全国ブランドへ

「地産地消」活動を続ける中で、特に評判のよい特産品は、全国ブランド化へ向けてバックアップしています。その代表例が「はかた地どり」で、地元店舗から取り扱いをはじめ徐々に全店に取り扱いを広げ着実に知名度をあげていきました。その結果2002年に、地鶏としては全国で5番目に特定JAS認定を受けており、全国のグルメやレストランから高い評価をいただいております。



④ 地域経済の活性化に直接貢献

イズミやゆめタウンの店では地域産品マーケットを大切に育てています。それは「地産地消」が地域の生産者に活力を与え、生産者のエネルギーはやがて地域経済全体の活性化に貢献すると考えているからです。それは地域密着型の経営方針のひとつの現れでもあります。

■女性の能力活用

女性にイキイキと働いてもらいたい

- 子育てと仕事の両立を応援 -

お客様にご満足いただける売場作りを実現するには、お客様の約8割を占める「女性」の視点や感性が重要となります。

イズミでは、働く女性の経験と能力を活かしてもらうために、様々な制度の充実を図り、

女性のキャリア形成を全面的に支援しています。

育児休業制度はその一つであり、出産後も子育てと仕事を両立する女性が増えています。

女性の活躍

イズミでは女性の登用が進んでいます。

店舗の売場主任の47%が女性(うちパートは14%)であり、お客様の立場で売場作りに励んでいます。

また、本社パイヤーや管理職にも登用が進んでいます。

このような女性能力の活用に向けた取組みが認められ、イズミは「平成16年度均等推移企業厚生労働大臣優良賞」を受賞いたしました。



育児休業制度の充実

妊娠中から産前産後、そして子供の手が離れるまでを全面支援。

労働時間の短縮や育児休業はもちろん、

復職に向けた教育訓練も充実し、

元の職場に元の待遇で復職できます。



ゆめタウン黒瀬のメンズ課主任桶本あゆみは、初めての子育てに際しこの制度を活用。勤務時間を短縮しながら、密度の濃い仕事で活躍しています。

中国新聞(2004年11月6日付)より



■特集:イズミ・フード・サービス

イズミの“夢”に協力するグループ企業には様々な顔があります。

今回は美味しい笑顔が広がるフード産業のプロフェッショナル企業をご紹介します。

心のごちそう

イズミ・フード・サービス

高品質で楽しいアイスクリーム専門店

Baskin Robbins.

サテライトアイスクリーム



31日間新しい美味しさを楽しむアイスクリーム店。若者に絶大な人気を得ています。

ナポリの雰囲気でお食事を

Pizzeria Mar-de-Napoli



店内はナポリの海辺のレストランをイメージ。家庭の菜園ハーブなどを使い、メニューも本格的です。

イズミの飲食事業部としてスタートしたイズミ・フード・サービス(株)は、1996年にフード産業の専門会社として独立。10年間にわたる歴史の中で、社会の成長や消費者の多様化にあわせ店舗の種類も増え、現在は「マルデ・ナポリ」「ミスタードーナツ」「たこ一番」など8ブランド147店舗にまで成長しました。

それらの多様化した店舗展開の中で、私たちが共通してこだわっているのが、お客様に「満足」をご提供することです。

料理ではできたて・アツアツの美味しさを、メニューは素材と作り方を吟味した本格志向で、さらには「おもてなし」の心を大切にすればやい対応と丁寧な接客で、満足いただけるお店作りを常に心がけています。

真心のサービスと味へのこだわりを通じて、より豊かな食生活を想像するために、私たちはさらに努力を重ねていきます。

手づくり作りたての人気店

ミスタードーナツ



ドーナツは一つ一つ店内で手作りしているできたての美味しさ。スタッフの元気さもう一つの自慢です。

行列のできる絶品たこ焼き

たこ一番



外はパリッと中はトロリとした揚げたこ焼き。食材もたこは生たこ、油はキャノーラ油を使用。お客様が「並んでも食べたい」と言ってくださるようなたこ焼きをご提供しています。

活きと元気のいい海鮮寿司

第1 玄海丸

食べ放題の飲茶レストラン

香港ガーデン

イタリアの家庭料理

Amico

ココのあるスープの札幌ラーメン

札幌ラーメン 源八郎

Financial Data

[連結] 決算

単位:百万円

	平成14年2月	平成15年2月	平成16年2月	平成17年2月	平成18年2月計画
営業収益	363,714	383,098	407,647	426,437	438,800
前年比	104.9%	105.3%	106.4%	104.6%	102.9%
営業利益	14,783	15,993	18,078	19,770	21,900
前年比	143.7%	108.2%	113.0%	109.4%	110.8%
経常利益	13,782	15,741	17,742	19,463	21,400
前年比	139.7%	114.2%	112.7%	109.7%	110.0%
当期純利益	4,832	5,600	8,712	9,601	9,900
前年比	141.5%	115.9%	155.6%	110.2%	103.1%
1株当たり利益	81.46円	95.23円	148.07円	166.88円	179.00円
総資産	268,654	273,484	295,927	318,893	—
株主資本	74,131	76,892	84,354	85,519	—
1株当たり純資産	1,253.25円	1,354.71円	1,437.82円	1,546.04円	—
株主資本利益率	6.6%	7.4%	10.8%	11.3%	—
株主資本比率	27.6%	28.1%	28.5%	26.8%	—
連結子会社数	18社	17社	17社	21社	—

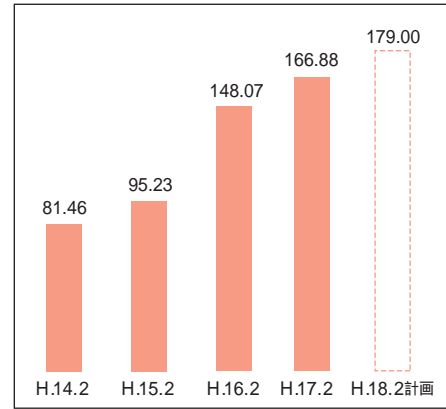
[単体] 決算

単位:百万円

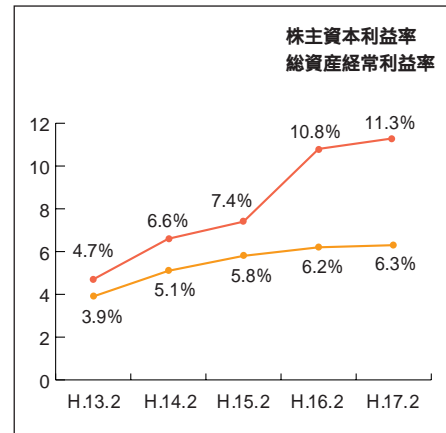
	平成14年2月	平成15年2月	平成16年2月	平成17年2月	平成18年2月計画
営業収益	310,365	321,305	332,264	349,083	363,800
前年比	102.0%	103.5%	103.4%	105.1%	104.2%
営業利益	11,825	13,340	13,245	14,985	16,300
前年比	143.2%	112.8%	99.3%	113.1%	108.8%
経常利益	10,890	12,648	12,965	14,778	16,000
前年比	158.8%	116.1%	102.5%	114.0%	108.3%
当期純利益	3,789	5,621	7,097	7,780	8,150
前年比	122.0%	148.3%	126.3%	109.6%	104.8%
1株当たり利益	61.34円	92.33円	117.80円	131.86円	142.87円
総資産	216,540	218,473	230,509	249,922	—
株主資本	75,465	77,334	83,277	83,379	—
1株当たり純資産	1,226.25円	1,287.34円	1,386.40円	1,461.47円	—
株主資本利益率	5.1%	7.4%	8.8%	9.3%	—
1株当たり配当金	21.00円	23.00円	23.00円	24.00円	24.00円

1株当たり利益(連結)

単位:円



総資産経常利益率と株主資本利益率(連結)



[連結] 貸借対照表

単位:百万円

	当期 H17.2.28	前期 H16.2.29		当期 H17.2.28	前期 H16.2.29
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	63,355	58,467	流動負債	96,202	90,242
現金及び預金	12,622	10,184	支払手形及び買掛金	15,629	17,485
受取手形及び売掛金	7,525	6,915	短期借入金	27,792	20,981
たな卸資産	24,124	22,199	1年内返済予定の長期借入金	20,664	23,662
繰延税金資産	1,934	1,718	1年内償還予定の社債	5,000	5,000
その他	17,981	18,234	未払金	14,467	11,214
貸倒引当金	834	784	未払法人税等	4,905	4,535
固定資産	255,537	237,459	賞与引当金	1,374	1,317
有形固定資産	219,565	199,812	ポイント割引引当金	881	752
建物及び構築物	113,307	106,048	その他	5,487	5,292
機械装置及び運搬具	1,743	1,625	固定負債	132,539	116,006
土地	89,533	79,245	社債	—	5,000
建設仮勘定	4,149	2,583	転換社債型新株予約権付社債	20,000	—
その他	10,830	10,310	長期借入金	83,648	84,642
無形固定資産	6,794	7,802	退職給付引当金	4,282	3,799
投資その他の資産	29,178	29,844	役員退職慰労引当金	853	823
投資有価証券	5,488	4,695	預り敷金及び保証金	22,284	20,137
長期貸付金	1,610	2,475	繰延税金負債	1,005	994
繰延税金資産	2,079	2,304	その他	463	608
差入敷金及び保証金	16,868	16,864	負債合計	228,742	206,248
その他	3,415	4,020	(少数株主持分)		
貸倒引当金	284	516	少数株主持分	4,631	5,324
(資本の部)			(資本の部)		
			資本金	19,613	19,613
			資本剰余金	22,315	22,315
			利益剰余金	54,017	45,822
			その他有価証券評価差額金	979	535
			為替換算調整勘定	3	2
			自己株式	11,403	3,930
			資本合計	85,519	84,354
資産合計	318,893	295,927	負債、少数株主持分及び資本合計	318,893	295,927

Financial Data

COMMENT

資産・負債・資本の状況

資産

3,188億円(前期末比 229億円増加)

当期に開店した光の森店、呉店及び次期以降の新設予定店舗への投資等により、固定資産は180億円増加しました。また、業容の拡大にともなう売掛金・たな卸資産の増加などにより流動資産は48億円増加しました。これらの結果、当期末の総資産は229億円増加し、3,188億円となりました。

負債

2,287億円(前期末比 224億円増加)

資金調達として転換社債型新株予約権付社債200億円を発行した一方、普通社債の償還や長期借入金の返済があり、有利子負債は前期末に比べて178億円増加し、1,571億円となりました。この結果、当期末の負債は2,287億円(前期末比 224億円増加)となりました。

資本

855億円(前期末比 11億円増加)

堅調な営業成績により利益剰余金が81億円増加した一方、自己株式を74億円取得しており、この結果、当期末の株主資本は855億円(前期末比 11億円増加)となりました。なお、株主資本比率は、26.8%(前期末実績 28.5%)となっております。

[連結] 損益計算書

	当 期 H16.3.1 - H17.2.28	前 期 H15.3.1 - H16.2.29
営業収益	426,437	407,647
売上高	412,441	395,917
売上原価	318,975	303,997
売上総利益	93,465	91,920
営業収入	13,995	11,729
営業総利益	107,461	103,649
販売費及び一般管理費	87,690	85,570
営業利益	19,770	18,078
営業外収益	1,792	2,012
受取利息及び配当金	246	253
仕入割引	451	471
その他	1,094	1,288
営業外費用	2,099	2,349
支払利息及び社債利息	1,675	1,838
その他	424	510
経常利益	19,463	17,742
特別利益	277	241
特別損失	1,652	1,094
固定資産売却・除却損	423	628
投資有価証券売却・評価損	31	65
貸倒引当金繰入	284	—
その他	912	400
税金等調整前当期純利益	18,089	16,888
法人税、住民税及び事業税	8,090	7,368
法人税等調整額	263	254
少数株主利益	661	1,061
当期純利益	9,601	8,712

単位:百万円

COMMENT

連結損益の状況

営業収益

4,264億円(前年比 4.6%増)

単体の既存店売上高は天候不順や競合激化により前年比97.1%となりましたが、平成15年10月開店の久留米店や平成16年6月開店の光の森店、9月開店の呉店の貢献により、単体の営業収益は前年比5.1%増加しました。さらに連結子会社も増収を果たしており、連結営業収益は前年比4.6%増となりました。

経常利益

194.6億円(前年比 9.7%増)

仕入原価の低減や販管費の抑制により営業利益率は4.8%(前年実績 4.6%)となりました。さらに、金融費用の減少も加わり経常利益は前年比 9.7%増となり、6期連続で増益を果たしました。

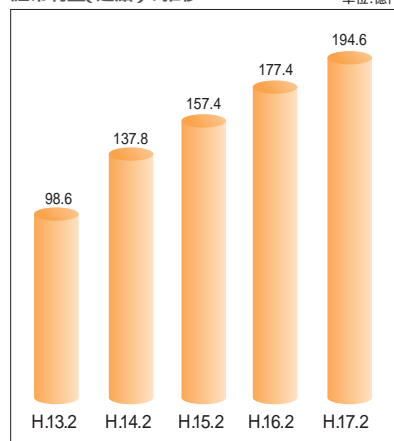
当期純利益

96.0億円(前年比 10.2%増)

特別損失は店舗閉鎖等による損失を前年より多く計上しましたが、堅調な営業成績を受けて当期純利益は前年比10.2%増加しました。また、1株当たり当期純利益は166.88円となりました。

経常利益(連結)の推移

単位:億円



[連結] キャッシュ・フロー計算書

	当 期 H16.3.1 - H17.2.28	前 期 H15.3.1 - H16.2.29
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	18,089	16,888
減価償却費	11,460	10,828
たな卸資産の増減額	1,900	1,263
仕入債務の増減額	1,963	2,840
法人税等の支払額	7,699	6,698
その他	20	6,645
営業活動によるキャッシュ・フロー A	17,966	29,240
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得・売却	21,307	24,818
無形固定資産の取得による支出	254	523
その他	444	89
投資活動によるキャッシュ・フロー B	21,118	25,253
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の実行・返済	4,692	13,398
社債・転換社債の発行・償還	14,954	10,000
自己株式の取得による支出	8,854	179
その他	4,112	5,191
財務活動によるキャッシュ・フロー C	5,519	1,972
4. 現金・現金同等物の換算差額	0	0
5. 現金・現金同等物の増減額	2,367	2,016
6. 現金・現金同等物の期首残高	10,184	8,168
7. 新規連結に伴う現金・現金同等物の増加額	49	—
8. 現金・現金同等物の期末残高	12,600	10,184

単位:百万円

COMMENT

キャッシュ・フローの状況

A 営業活動によるキャッシュ・フロー

会社の本業である営業活動によってどれだけの資金を獲得したかを表したものです。

営業活動によるキャッシュ・フローは179億円の収入となり、前期に比べ112億円減少しました。これは、堅調な営業成績により税金等調整前当期純利益が12億円増加した一方、仕入債務の増減額が48億円減少したことなどによるものです。

B 投資活動によるキャッシュ・フロー

店舗新設等の設備投資や有価証券投資など期中の投資活動による資金の増減を表したものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、211億円の支出となりました。これは主に平成16年6月に開店したゆめタウン光の森店及び同年9月に開店したゆめタウン呉店等への設備投資によるものです。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの差額は31億円の支出超過となりました。

C 財務活動によるキャッシュ・フロー

営業活動および投資活動を維持するためにどれだけの資金を調達あるいは返済したかを表したものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前期が19億円の支出であったのに対して、当期は55億円の収入となりました。これは主に国内転換社債型新株予約権付社債の発行によるものです。なお、現金及び現金同等物の残高は24億円増加し、126億円となりました。

[単体] 貸借対照表

単位:百万円

	当 期 H17.2.28	前 期 H16.2.29		当 期 H17.2.28	前 期 H16.2.29
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	36,002	31,071	流動負債	58,446	53,336
現金及び預金	5,962	3,884	買掛金	13,428	13,972
売掛金	2,524	2,626	短期借入金	1,000	1,000
たな卸資産	13,778	12,936	1年内返済予定の長期借入金	14,605	14,837
繰延税金資産	1,456	1,250	1年内償還予定の社債	5,000	5,000
短期貸付金	7,129	5,599	未払金	14,491	8,394
その他	5,165	4,834	未払法人税等	3,579	3,568
貸倒引当金	13	59	賞与引当金	1,202	1,174
固定資産	213,919	199,438	ポイント割引引当金	784	688
有形固定資産	178,294	161,662	その他	4,355	4,700
建物	89,380	82,363	固定負債	108,096	93,895
土地	72,077	62,891	社債	—	5,000
建設仮勘定	3,028	2,559	転換社債型新株予約権付社債	20,000	—
その他	13,808	13,848	長期借入金	65,727	69,282
無形固定資産	5,923	6,845	退職給付引当金	3,717	3,381
投資その他の資産	29,702	30,929	役員退職慰労引当金	794	773
投資有価証券	6,519	6,052	預り敷金・保証金	17,327	15,151
出資金	526	526	その他	528	306
長期貸付金	1,610	2,475	負債合計	166,543	147,232
繰延税金資産	1,258	1,567	(資本の部)		
差入敷金	7,497	7,554	資 本 金	19,613	19,613
差入保証金	11,831	12,166	資本剰余金	22,282	22,282
その他	743	1,103	利益剰余金	49,589	43,213
貸倒引当金	284	516	その他有価証券評価差額金	959	535
			自己株式	9,066	2,366
			資本合計	83,379	83,277
資産合計	249,922	230,509	負債及び資本合計	249,922	230,509

COMMENT

新規出店と閉店

期末店舗数	71店舗
新設	2店舗
閉店	1店舗

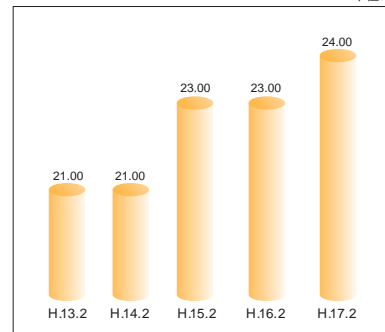
COMMENT

既存店売上高前年比

既存店売上前年比	97.1%
- 客数前年比	101.1%
- 客単価前年比	96.6%

配当金の推移

単位:円



[単体] 損益計算書

単位:百万円

	当 期 H16.3.1 ~ H17.2.28	前 期 H15.3.1 ~ H16.2.29
営業収益	349,083	332,264
売上高	335,307	320,494
売上原価	260,868	247,898
売上総利益	74,439	72,596
営業収入	13,775	11,769
営業総利益	88,214	84,365
販売費及び一般管理費	73,229	71,119
営業利益	14,985	13,245
営業外収益	1,395	1,439
受取利息及び配当金	288	299
仕入割引	446	465
その他	661	675
営業外費用	1,602	1,720
支払利息及び社債利息	1,341	1,496
その他	261	224
経常利益	14,778	12,965
特別利益	240	210
特別損失	1,254	602
固定資産売却・除却損	206	429
投資有価証券売却・評価損	31	65
業態変更損失	352	—
貸倒引当金繰入	284	—
その他	380	107
税引前当期純利益	13,764	12,573
法人税、住民税及び事業税	6,169	5,651
法人税等調整額	184	174
当期純利益	7,780	7,097
前期繰越利益	1,374	1,361
中間配当額	690	690
当期末処分利益	8,464	7,767

[単体] 利益処分

単位:百万円

	当 期 H16.3.1 ~ H17.2.28	前 期 H15.3.1 ~ H16.2.29
当期末処分利益	8,464	7,767
任意積立金取崩額		
特別償却準備金	38	25
固定資産圧縮積立金	12	13
合 計	8,515	7,806
利益処分額		
配当金	713 (1株につき、12円50銭)	690 (1株につき、11円50銭)
取締役賞与金	7	20
監査役賞与金	2	1
任意積立金		
特別償却準備金	79	89
別途積立金	6,350	5,630
次期繰越利益	1,363	1,374

会社概要 (平成17年2月28日現在)

設立年月日 昭和36年10月27日
 本社所在地 広島市南区京橋町2番22号
 TEL 082-264-3211(代)
 資本金 19,613,856,196円
 従業員 正社員 1,993名
 パートタイマー 4,267名(1日8時間換算)
 店舗数 71店

中国地方 56店
 広島県 29店 岡山県 12店
 山口県 10店 島根県 5店

九州地方 13店
 福岡県 9店 佐賀県 1店
 大分県 1店 長崎県 1店
 熊本県 1店

その他 2店
 香川県 1店 兵庫県 1店

役員一覧 (平成17年5月26日現在)

取締役会長 山西 義政
 代表取締役社長 山西 泰明
 代表取締役副社長 高西 宏昌
 取締役 真下 梅夫
 取締役 夏原 平次郎
 常勤監査役 川本 邦昭
 監査役 滝本 豊水
 監査役 松原 治郎
 監査役 通堂 泰幸

(注)川本 邦昭氏は、国家公務員法の定めるところにより、
 監査役就任については人事院の承認を条件といたします。

大株主の状況

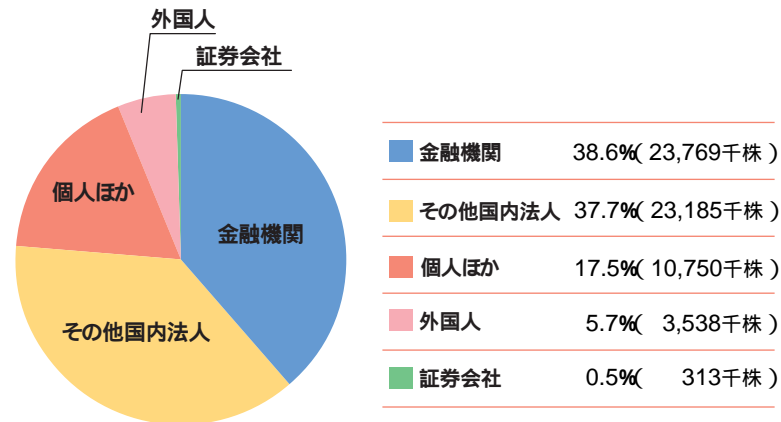
	株式数	持株比率
(有)泉屋	5,728千株	9.31%
山西ワールド(有)	3,871千株	6.29%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	3,569千株	5.80%
(株)泉不動産	3,152千株	5.12%
(株)あおぞら銀行	2,750千株	4.47%
(株)広島銀行	2,684千株	4.36%
日本生命保険(相)	2,607千株	4.24%
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	2,350千株	3.82%
第一生命保険(相)	2,015千株	3.27%
(株)泉興産	2,000千株	3.25%
10社合計	30,730千株	49.92%

(注)自己株式は含めておりません。

株式の状況 (平成17年2月28日現在)

会社が発行する株式の総数 195,243,000株
 発行済株式の総数 61,558,710株
 株主数 4,108名
 1単元の株式数 100株

株式の分布状況



株価の推移

